

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年9月20日(2022.9.20)

【公開番号】特開2022-48153(P2022-48153A)

【公開日】令和4年3月25日(2022.3.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-053

【出願番号】特願2021-213604(P2021-213604)

【国際特許分類】

C 12 N 15/63(2006.01)
 C 12 N 5/0783(2010.01)
 C 12 N 5/10(2006.01)
 A 61 P 35/00(2006.01)
 A 61 K 35/17(2015.01)
 A 61 P 35/02(2006.01)
 C 12 N 15/13(2006.01)
 C 12 N 15/24(2006.01)
 C 12 N 15/62(2006.01)

10

【F I】

C 12 N 15/63 Z Z N A
 C 12 N 5/0783
 C 12 N 5/10
 A 61 P 35/00
 A 61 K 35/17 Z
 A 61 P 35/02
 C 12 N 15/13
 C 12 N 15/24
 C 12 N 15/62 Z

20

【手続補正書】

30

【提出日】令和4年9月9日(2022.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シクロホスファミド又はフルダラビンと併用して投与される、

キメラ抗原受容体(CAR)、インターロイキン7、及びCCL19を発現するT細胞と
 、薬学的に許容される添加剤とを含有する抗がん剤。

40

【請求項2】

T細胞に、CARをコードする核酸、インターロイキン7をコードする核酸、及びCCL19をコードする核酸を含有し、前記CARをコードする核酸が、CD20、EGFR、
 FITC、CD19、CD22、CD33、PSMA、GD2、EGFR variant、
 ROR1、c-Met、HER2、CEA、メソテリン、GM2、CD7、CD10、
 CD30、CD34、CD38、CD41、CD44、CD74、CD123 CD13
 3、CD171、MUC16、MUC1、CS1(CD319)、IL-13R_α2、
 CMA、Lewis Y、IgG kappa chain、Folate receptor
 -alpha、PSCA、又はEpCAMを認識する一本鎖抗体のポリペプチドをコ-

50

ドする核酸を含有することを特徴とする、請求項 1 に記載の抗がん剤。

【請求項 3】

C A R をコードする核酸が、4 - 1 B B の細胞内領域、及び C D 3 の細胞内領域のポリペプチドをコードする核酸を含有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の抗がん剤。

【請求項 4】

C A R をコードする核酸が、C D 2 8 の細胞内領域のポリペプチドをコードする核酸を含有することを特徴とする請求項 3 に記載の抗がん剤。

【請求項 5】

T 細胞に、自殺遺伝子をコードする核酸を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の抗がん剤。

。

【請求項 6】

C A R における一本鎖抗体が認識するがん細胞の細胞表面抗原が、C D 2 0 、 E G F R 、 F I T C 、 C D 1 9 、 C D 2 2 、 C D 3 3 、 P S M A 、 G D 2 、 E G F R v a r i a n t 、 R O R 1 、 c - M e t 、 H E R 2 、 C E A 、 メソテリン 、 G M 2 、 C D 7 、 C D 1 0 、 C D 3 0 、 C D 3 4 、 C D 3 8 、 C D 4 1 、 C D 4 4 、 C D 7 4 、 C D 1 2 3 、 C D 1 3 3 、 C D 1 7 1 、 M U C 1 6 、 M U C 1 、 C S 1 (C D 3 1 9) 、 I L - 1 3 R a 2 、 B C M A 、 L e w i s Y 、 I g G k a p p a c h a i n 、 F o l a t e r e c e p t o r - a l p h a 、 P S C A 、 又は E p C A M であることを特徴とする、請求項 1 に記載の抗がん剤。

【請求項 7】

がんの治療を必要とする患者にシクロホスファミド又はフルダラビンを用いて処理した後に投与される、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の抗がん剤。